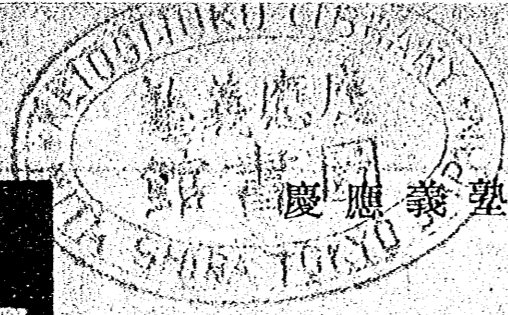


Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1947
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.40, No.5 (1947. 5)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19470501--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.



會 學 經 塾 義 慶 三

三田學會雜誌

第四十卷 第五號

菅野政以の「通言」

ぎなかつたのかも知れない。彼は世變の計られざることを述べ、臨時巨額の費用の出づることあるべきを告げ、外舶來航のことに言及してゐる。

「御手傳・御ふしんなり、旱滂・凶作也、水難・水災也、彼の北邊の戎役も先づ御遣しと申ながら、奥羽大藩ハ追々警備の役を被爲豪候所、御一家のミ御のかれの事ニ候得ハ、此末一朝變あらバ御當り前にて、いつもく、弓斷のならぬ事ニ御坐候、」

文化初世、代を擧げて泰平を謳歌してゐた時である。彼が繰り返し／＼説いてゐる警告も十分な効果があつたとも思はれない。

政以はこの上書を結ぶのに父祖、殊に治憲の深き慈愛と訓育の周到なることについて縷々敘述し、孔子が武王周公の達孝を稱美して、「夫孝者善繼人之志善述人之事者也」といへるを引用して父祖に對す孝養を以つてしてゐる。これら何れも當時最も一般的な儒教的通念に過ぎないが、作者が藩の將來を憂ひ、又父太華の苦心の經營を繼がんとする至情の念は、全篇を通じて窺知し得るところである。

當時各藩ともに財政難を極めてゐた。寶曆・明和の

六四 (二三六)

頃、多くの藩において改革が行れた。米澤藩もその一つであつた。それらは必ずしも同一方法を以つてなされたわけではないが、いづれも封建的觀念を脱却し得たものではなかつた。やがて崩壊する運命を免れ得るものではない。少數の識者間には不知不識にそれが感知されてゐたのであらう。菅野九郎兵衛政以もその少數者の一人といつてもよからう。従つて當時この種の獻言のなされたのは米澤藩のみのことではなかつた。本書はそれらの獻言のうちでも、最も現實に即して述べられ、しかも當時の典型的なものゝ一つであらう。

(昭和二十二年三月六日稿)

蛇足ではあるが、表題の「通言」の意は詩經の「維通言是聽、維通言是爭」に出づる淺近の言の意である。

前 號 (第四十卷) 目 次

- 論 說
 - 大都市人口の規制……………奥井復太郎
 - 計畫經濟の一極限……………千種義人
- 資 料
 - 南錄ニ朱銀の流通について……………野村兼太郎
 - 貨幣經濟に於ける均衡の性質……………鈴木諒一

論 說

現代公債政策の發展過程(序論)……………高木壽一(一)

リカルドの國際貿易理論……………白石孝(七)

資 料

古典學派貿易理論研究……………

アメリカの貿易政策と世界經濟……………山本登(完)